

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営かんがい排水事業		路河川名等		
事業毎の通番		2	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	
					川西(かわにし)	
事業概要	事業目的	本地区の用水施設は、一級河川千曲川より取水し、調整池へ揚水した後、自然庄により437haの農地へ用水を補給する幹線的水利施設である。平成25,26年の破管事故を受け、既設管路の状況を実施したところ、管体の腐食が著しく既設計最大圧力10kgf/cm ² には耐えられない管路である事が判明した。このため新規の管路整備計画も検討したが、建設費が高く受益者の同意が得られない事から、既設管を有効に活用する方法を検討したところ、既設管の内圧に耐えられる圧力(5kgf/cm ² 程度)で送水する計画とした。減圧する事により自然庄での送水が出来ない受益地への送水として、新たなポンプ設備を設置し、低水圧での送水が行えるよう整備し、施設を適切に管理・運営する事によって当地域の農業生産の安定を図りたい。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業		事業実施の根拠法令等	土地改良法	
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、上田市第2次総合計画				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益面積A=437ha(水田A=371ha、樹園地A=66ha。)				
	着手年度	平成28年度	事業期間	3年間		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
				国庫	その他	
	全体事業内容(主な工種)	ポンプ設備整備 1式	200,000	100,000	20,000	45,000
	年度事業内容(主な工種)	測量・設計N=1式 ポンプ施設N=1式	60,000	30,000	15,000	14,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	受益地A=473haにおける用水の安定供給の確保と維持管理の軽減			
間接的効果(定量的・定性的)		耕作放棄地の抑制				
評価の視点	必要性	○受益戸数:1,371戸 ○受益農地面積:437ha ○地域用水:地域用水機能	評価	A		
	重要性	○用水不足:受益面積の50%以上に影響(100% 437ha/437ha) ○関連計画、重点施策:長野県第2期食と農業農村振興計画、上田市第2次総合計画 ○人・農地プラン:随時見直し(最新平成27年3月) ○日本型直接支払制度:多面的機能支払交付金小泉、仁古田地区他、中山間直接支払上室賀自治会	評価	A		
	効率性	○事業期間:3年間(H28~H30) ○工法等検討:実施計画時にポンプ形式及び設置台数の検討	評価	B		
	緊急性	○近年の自然災害:H25年に1回、H26年に3回。合計4回。 ○現況用排水能力:受益面積の100%以上に影響 ○用水の状況:施設の老朽化	評価	A		
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に説明 ○地域の取組:土地改良区、上田市から要望あり ○地域の合意形成:地域合意あり	評価	B		
	部意見	破管事故の影響により受益地末端まで送水が出来なく、営農に深刻な状況である。必要性、重要性、緊急性が高く、早期の整備が必要である。	行政改革課意見	既設管路の老朽化が著しく、営農に深刻な影響をもたらしており、必要性、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	総合評価
				○	A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】

破管事故等で通水できなくなった場合、かんがい期に不足する受益地への補給水が供給できなくなり、地域全体の営農に大きな支障が生じる。

破管時に幸い自動車等の通行はなかった。今後も同様の破管があった場合、人や車両等の通行があれば人命に関わる事故になる可能性がある。

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区は千曲川から取水している揚水ポンプ等、昭和44年～53年にかけて建設された基幹水利施設で、437haの農地へ用水を供給している。施設は川西地区土地改良区により維持管理されているが、築造から40年余りが経過し、近年では想定外の破管事故が発生し、維持管理、営農に支障を来している。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	施設の破管事故を受け、維持管理、営農に支障を来していることから、現在実施中のストックマネジメント事業と併せ、川西地区土地改良区から既設施設を有効に活用した改修要望があり、平成26年度から事業化に向けた検討を行っている。
③事業説明等の経緯	破管事故以降、土地改良区及び上田市によりストックマネジメント事業の計画変更とともに本地区の新規事業計画について役員会、臨時総代会により理事者、総代役員へ説明をするなど事業実施に向けた地域の合意形成を進めている。また、地域住民に対して事業の情報提供を行いながら、要望や意見を事業計画に反映させていく予定である。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、上田市第2次総合計画
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事実施時は、人家が隣接しているため、粉塵や騒音、振動、排ガス等に対する影響が想定されるため、説明会や広報誌等を通じた事業内容の周知を図るとともに、工事中の散水や低騒音・低振動・排ガス対策型重機の使用等適切な措置を行い、工事中においても協力・理解が得られるようにする。
⑥地域活性化への影響と配慮	本施設は当該地域における基幹水利施設であり、地域農業の発展に必要な不可欠な重要な施設である。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 38' 96
東経:E 138° 18' 48